



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社ユーザベース 上場取引所 東  
 コード番号 3966 URL http://www.uzabase.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (共同経営者) (氏名) 稲垣 裕介  
 梅田 優祐  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営財務企画担当専門役員兼CFO (氏名) 村上 未来 (TEL) 03-4574-6552  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績 (平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,488	52.9	238	58.3	226	61.1	167	24.3	117	△3.4
29年12月期第1四半期	973	—	150	—	140	—	134	—	121	—

※EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 123百万円 (2.9%) 29年12月期第1四半期 127百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	4.00	3.65
29年12月期第1四半期	4.21	3.86

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合、平成30年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	6,749	1,958	28.9
29年12月期	4,408	1,819	41.1

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 1,947百万円 29年12月期 1,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,763	48.1	827	51.6	389	△24.9	176	△59.8	6.01

(参考) EBITDA 平成30年12月期(予想) 902百万円 (51.6%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	29,375,676株	29年12月期	29,300,040株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	72株	29年12月期	72株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	29,336,185株	29年12月期1Q	28,833,864株

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合、平成30年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が継続しました。その一方で、国際情勢については先行きが不透明な状況となっております。

当社を取り巻く経営環境につきましては、国内情報サービス業の売上高規模は平成29年においては11兆3,216億円(前年比3.0%増加)と6年連続で成長を続けております(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査(平成30年3月公表)」)。また、スマートフォンの個人保有率は平成28年において56.8%(前年比3.7ポイント増)と普及が進んでいます(総務省「通信利用動向調査(平成29年6月公表)」)。更に、スマートフォン広告の市場規模は平成29年において8,317億円と前年比で128.4%と拡大しています(株式会社D2C、株式会社サイバー・コミュニケーションズ(CCI)、株式会社電通の共同調査「2017年日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析(平成30年3月公表)」)。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間においては、「SPEEDA」事業においては新規獲得IDの順調な積み上げによりID数が増加し、また「NewsPicks」事業においては更なる有料課金ユーザー数の増加に加え、順調な広告売上の獲得と、両事業共に好調に業績が推移いたしました。その結果、売上高は1,488,109千円(前年同期比52.9%増加)、EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却費(以下同様))は238,963千円(前年同期比58.3%増加)、営業利益は226,224千円(前年同期比61.1%増加)となりました。また、米国の持分法適用関連会社のNewsPicks USA, LLCにおいて先行投資を進めたことなどにより持分法投資損失41,669千円を計上した結果、経常利益は167,409千円(前年同期比24.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は117,223千円(前年同期比3.4%減少)となりました。

## ① 「SPEEDA」事業

「SPEEDA」事業においては、企業・業界情報プラットフォームである「SPEEDA」の既存顧客による契約IDの追加及び事業会社による新規導入を中心に国内外において販売は堅調に推移いたしました。また、スタートアップデータベースの「entrepedia(アントレペディア)」、B2Bマーケティングプラットフォーム「FORCAS(フォーカス)」の各サービス提供も堅調に推移しております。

その結果、「SPEEDA」の当第1四半期末におけるID数は2,135ID(国内1,899ID、海外236ID)となり、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は876,781千円(前年同期比36.2%増加)、セグメントEBITDAは151,081千円(前年同期比32.4%増加)、セグメント利益は140,477千円(前年同期比34.9%増加)となりました。

## ② 「NewsPicks」事業

「NewsPicks」事業においては、サービスの知名度の向上、自社によるオリジナルコンテンツや外部メディアからの優良な記事の配信を通じて会員ユーザー数(注1)、有料課金ユーザー数(注2)共に順調に増加し、有料課金売上が増加いたしました。さらに、スマートフォン向けの広告サービスに対する需要も高く、広告売上につきましても増加いたしました。

その結果、「NewsPicks」の当第1四半期末における会員ユーザー数は3,140千人、有料課金ユーザー数は64,336人となり、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は611,328千円(前年同期比85.2%増加)、セグメントEBITDAは87,882千円(前年同期比138.3%増加)、セグメント利益は85,746千円(前年同期比136.0%増加)となりました。

(注) 1. 会員ユーザー数は、「NewsPicks」サービスに会員登録(簡易登録含む)しているユーザーの総数(延べ人数ではありません。)を指します。

2. 有料課金ユーザー数は、「NewsPicks」サービスに会員登録しているユーザーのうち、月額有料サービスを利用しているユーザー数(延べ人数ではありません。)を指し、プレミアム会員及びアカデミア会員によって構成されます。プレミアム会員とは「NewsPicks」オリジナル記事や海外の有料媒体の記事等が閲覧でき、アカデミア会員はプレミアム会員のサービス内容に加え、各界著名人による特別講義の受講、「NewsPicks」選定のアカデミア書籍(毎月1冊)の提供等を受けることができます。なお、プレミアム会員はiOS月額1,400円又はiOS以外のプラットフォーム月額1,500円(学割プランは月額500円)、アカデミア会員は月額5,000円です。

3. 前連結会計年度において開始したアカデミアプランは、開始初年度における立上りの状況を開示する目的

で会員数を開示して参りましたが、当第1四半期連結累計期間より非開示といたします。当連結会計年度に開始したアカデミアゼミ(一定期間において少人数形式で講義を受講できるプラン)等、コミュニティ形成に資する多様なプランを検討して参りますが、アカデミアプランは当該一施策として継続し、引き続き会員数の拡大を図って参りたいと考えております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,340,424千円増加し、6,749,132千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が前連結会計年度末と比較して1,945,058千円増加したこと、前払費用が前連結会計年度末と比較して20,277千円増加したこと、有形固定資産が前連結会計年度末と比較して92,768千円増加したこと、投資その他の資産が前連結会計年度末と比較して304,583千円増加したこと等によるものであります。

### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,201,352千円増加し、4,790,618千円となりました。これは主に、流動負債において1年内返済予定の長期借入金が前連結会計年度末と比較して297,453千円増加したこと、固定負債において長期借入金が前連結会計年度末と比較して1,625,448千円増加したこと、社債を新たに240,000千円計上したこと等によるものであります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して139,071千円増加し、1,958,514千円となりました。これは主に、当第1四半期連結累計期間に117,223千円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上されたことに伴い利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成30年2月13日に公表しました内容に変更ございません。

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,217,254	5,162,313
受取手形及び売掛金	320,428	326,759
前払費用	95,262	115,539
その他	103,383	78,708
貸倒引当金	△3,735	△3,774
流動資産合計	3,732,593	5,679,546
固定資産		
有形固定資産	50,848	143,617
無形固定資産		
のれん	118,298	115,011
その他	8,985	8,390
無形固定資産合計	127,283	123,402
投資その他の資産	497,982	802,566
固定資産合計	676,114	1,069,586
資産合計	4,408,707	6,749,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	183,964	195,544
1年内償還予定の社債	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	202,601	500,054
未払金	195,196	193,004
未払法人税等	84,415	53,572
賞与引当金	—	92,675
前受収益	501,378	586,054
その他	365,236	174,757
流動負債合計	1,532,792	1,855,663
固定負債		
社債	—	240,000
長期借入金	1,054,408	2,679,856
資産除去債務	—	13,301
その他	2,064	1,797
固定負債合計	1,056,472	2,934,954
負債合計	2,589,265	4,790,618
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,328,889	1,334,679
資本剰余金	191,338	197,128
利益剰余金	286,881	404,104
自己株式	△102	△102
株主資本合計	1,807,006	1,935,810
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,581	12,172
その他の包括利益累計額合計	5,581	12,172
新株予約権	6,854	10,531
純資産合計	1,819,442	1,958,514
負債純資産合計	4,408,707	6,749,132

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	973,004	1,488,109
売上原価	429,027	673,070
売上総利益	543,977	815,038
販売費及び一般管理費	403,523	588,814
営業利益	140,454	226,224
営業外収益		
その他	839	706
営業外収益合計	839	706
営業外費用		
支払利息	1,322	3,138
持分法による投資損失	—	41,669
その他	5,316	14,713
営業外費用合計	6,639	59,521
経常利益	134,654	167,409
税金等調整前四半期純利益	134,654	167,409
法人税、住民税及び事業税	23,854	42,273
法人税等調整額	△13,689	7,912
法人税等合計	10,164	50,186
四半期純利益	124,489	117,223
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,177	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,312	117,223

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	124,489	117,223
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,009	6,196
持分法適用会社に対する持分相当額	—	394
その他の包括利益合計	3,009	6,591
四半期包括利益	127,499	123,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,322	123,814
非支配株主に係る四半期包括利益	3,177	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	「SPEEDA」事業	「NewsPicks」事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	643,685	329,319	973,004	—	973,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100	753	853	△853	—
計	643,785	330,072	973,857	△853	973,004
セグメント利益	104,114	36,339	140,454	—	140,454

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「SPEEDA」事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、株式会社ジャパンベンチャーリサーチを連結子会社としたことに伴い、のれんが131,442千円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	「SPEEDA」事業	「NewsPicks」事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	876,781	611,328	1,488,109	—	1,488,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	876,781	611,328	1,488,109	—	1,488,109
セグメント利益	140,477	85,746	226,224	—	226,224

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。